

八郎潟町 1 人 1 台端末の利活用に係る計画

1. 1 人 1 台端末を始めとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

ICT の活用により、学習履歴などをはじめとした教育データを活用し、子ども一人ひとりの特性、学習進度や学習到達度等、個々に応じた指導をすることで「個別最適な学び」の充実と、共同で作成・編集等を行う活動や、多様な意見を共有しつつ合意形成を図る活動などにより「協働的な学び」の発展を推進する。

個別最適な学びと、協働的な学びを実現するための学校教育の基盤的なツールとして必要不可欠な ICT を最大限活用するため、1 人 1 台端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、家庭への持ち帰りを含め児童生徒がタブレット端末を文房具のように日常的に使用する環境の整備を進め、教師の対面指導の重要性を再認識するとともに、ICT を活用すること自体が目的化しないよう留意しながら、急激に変化する時代の中で育むべき子どもたちの資質・能力を育成する。

2. GIGA 第 1 期の総括

GIGA スクール構想第 1 期では、GIGA 端末や通信ネットワーク、電子黒板の整備などを実施したほか、デジタルドリルや授業支援ソフトを導入し、「個別最適な学び」「協働的な学び」を実践するための環境を構築し、児童生徒が日常的に学びのツールとして ICT を活用できる体制を段階的に充実させることができた。

一方で通信ネットワークの回線速度が当面の推奨帯域を満たしていない状況から、全校児童・生徒が同時にネットワークにアクセスした際の負荷や通信機器の老朽化による不具合等も踏まえ、ネットワークの状況を調査する必要性を感じている。

3. 1 人 1 台端末の利活用方策

GIGA スクール構想による 1 人 1 台端末の導入から、教職員や児童生徒による授業や家庭学習での日常的な活用が根付きつつある一方で、活用の度合いに学級間で差が出てきていることから、教職員への研修の充実を図り、児童生徒の学びを豊かにするための利活用について理解を深めていく。

本町の小中学校では「学びの効果を高めるための ICT の積極的な活用」を重点事項として掲げており、学校での積極的な活用を推進し、教育現場における「1 人 1 台端末の積極的活用」の実現にむけ、端末の整備・更新により、児童生徒向けの 1 人 1 台端末環境を引き続き維持する。

児童生徒が 1 人 1 台端末を自ら考え主体的に活用していくために、学校生活における ICT 機器の使用が当たり前のこととなるように日常的な端末利用が重要である。そのため、授業支援ソフト等の選定に当たっては、教職員と協議しながら、より効果的な利活用が期待できるものを選定し、授業での ICT の活用拡大に努めるほか、小学校中学年以上は毎日の持ち帰りと家庭での利用の習慣化を目標とし、成長段階に応じた端末の活用を発展させる。

1 人 1 台端末を活用し、デジタルドリル等の学習履歴や生徒指導データ等を活用することで、児童生徒一人ひとりの特性や学習進度に応じた指導の個別化を図るとともに、理解度に合わせた

学習の最適化を進める。

また、授業支援ソフト等を用いて、児童生徒一人ひとりの考えの共有や、複数名での共同編集学習など、協働的な学びをとおして他者の意見を尊重しながら自身の意見をまとめる力を育成することを目指す。

様々な事情により登校が困難な児童生徒が希望する場合、端末を活用した授業への参加の環境整備として、授業支援ソフト等を通じた教職員とのコミュニケーションの強化や、オンライン授業の拡張に取り組むなど、切れ目のない学びを保障していく。